

第2回全日本チヌ釣連盟クラブ対抗選抜大会レポート

日時 :平成25年10月6日 (日)

天候 :晴れ

場所 :三重県本浦やま栄渡船

レポート:山川 桂

昨年優勝の本大会、連覇目指して、松元会長代行、藤阪さんと3名で、松元さんの車にていざ出陣！

今日は、藤阪さんと私が選手です。松元さんは会長代行兼、私たちのお世話で大変です。

車中、色々と作戦会議をしている内に現地着。

筏は昨年同様連結筏AとBに、選手5名ずつと役員さんがそれぞれ1名ずつの12名にて釣り開始。私は、昨年と反対側の筏で、メンバーは、連盟会長 :柴田さん、一刀会会長 :小山さん、阪神さわやかベテラン梅木さん(兄)、全チヌ名人 :三木さん、そして私の隣に、全チヌ会長 :滝下さんという猛者ばかり、緊張感に包まれた中、釣り支度をしていると、滝下さんが私の所にチェックにこられ、ハリスを指先でコチヨコチヨ“1.2号位ですか？”流石は名人、ご名答、私は普段あまり細糸は使いません。昨年も1.5号でした。しかし今回は連覇が懸かっているので1.2号にしました。ハリはシラサ用に2号です。数十分後にチャリコが釣れますが、魚の活性が悪いみたいで、やっとチヌが釣れたのが2時間後位でした。今日はボラも居ません。みなさんは活性が悪いのとアイゴ(35cm級)の猛攻で苦しんでおられます。そんな中私は、サシエを流す、止める、浮かす、底に留める、サソウ、サシエのローテーションとパターンを変えた瞬間に釣れるチヌがほとんどで、同じパターンで釣れ続くことはありませんでした。ハリを呑み込んだチヌは1匹も居ません。ハリハズレのバラシも多数ありました。大会のプレッシャーとアイゴの猛攻でチヌも活性が悪かったのかな？

数釣りシーズンは、もう少し先のようなでした。

藤阪さんをはじめ、7~8名がチンタの顔すら見れないキビシイ1日でした。

また、来年がんばりましょう！

追伸、松元さん等、役員3名で沖の筏で、20数匹、松元さんも6匹ゲットされていました。流石！

成績結果

優勝 :関西チヌ研 6匹 その他25cm以下5匹 計11匹 オマケ :マダイ52cm

2位 :京都チヌ研 4匹

3位 :阪神さわやか、一刀会 共に2匹

以上